



岩槻幼稚園・2025年度12月号

<2025年度12月の聖句>

「その名はインマヌエルと呼ばれる。」この名は、
「神は我々と共におられる」という意味である。

マタイによる福音書1:23

～心にとめて～

12月になりました。2025年も残すところあと一ヶ月。この時期になると、町が電飾でキラキラして、歩いているだけで楽しい気分になります。ですが、キラキラしているのはイルミネーションだけではありません。幼稚園のみんなもです。

2学期のはじまりから今日まで、毎日ほんとうによくがんばってくれています。日々の生活や行事を楽しむなかで、少しずつできることが増えてきています。それが自信につながって、自分から新しいことにチャレンジしているすがたが見られます。とてもかっこいいです。

ですが、ぼくがほんとうにいいなと思っているのは、自分が興味のあることに一生懸命になっていることや、できなくてもあきらめなくて、辛抱強く挑戦しつづけていることです。がんばりつづける力を自分で伸ばすことができる。とてもすばらしいことです。

岩槻幼稚園の子たちは、あそびの中で考えて、工夫して、やってみて、失敗して、また考えて…。そのくり返しのなかで、体と頭の使い方を身につけて、心を育んでいます。ですから、できたことよりも、できるまでの試行錯誤に、その子がぐんぐん成長している姿が見えます。人が変わっていく瞬間に立ち会える。それは幸せなことだなあと最近しみじみ思います。

大人になると、成果や結果ばかりが求められて、がんばる過程はあまり評価されません…。ですからぜひ、できたことではなく、がんばりつづけていることをほめてあげてください。それが勉強や競技や習い事でなくても、それはその子が伸びようとしている証です。そうすれば、ますます輝いていくはず。町のイルミネーションなんて霞むくらいにです！

もうすぐクリスマスを迎えます。神さまがイエスさまをくださったことをお祝いするために、みんなで力を合わせてご準備をしています。岩槻幼稚園の子たちがたからものであるのは、神さまが、たからものであるイエスさまを、ぼくたちわたしたちにくれたからです。ですからクリスマスは「イエスさまをくれてありがとう！」の日であると同時に「イエスさまをくれるくらい、ぼくたちを大好きでいてくれてありがとう！」の日でもあります。

みんなの輝きをひとつに合わせお祝いする、うれしいクリスマス。その日を迎えることが、今からとても楽しみです！！

岩槻教会牧師・岩槻幼稚園園長 清水 義尋

